

子ども達に理科の楽しさや感動を伝えたい

保育所・幼稚園から高等学校まで環境や自然および理科に関する教材の研究と新しい教材の開発、出前授業を実施しています。授業実践や現場の先生方との打ち合わせなどを通して理科の教授法、社会人に必要な対人関係スキルを磨きます。

卒業後の約40年間の教員生活を充実させるため、自分にしかない**武器**をここで身に付けましょう。



主な出前授業

- ・小学校1・2年生活科
「こん虫としぜんかんさつについて学ぼう」
- ・小学校3年理科
「こん虫の体のつくりと成長・発育について」
- ・高等学校生物基礎
「血球による食作用の観察・実験」



高等学校での出前授業風景

◇出前授業では生きた昆虫を扱います。実際の昆虫を見て、触れて観察・実験することでより児童・生徒の深い学びに繋がると考えています。

◇出前授業は、前で話す先生役の学生が一人、出前授業全体を監督する学生を一人配置しています。また、児童・生徒を班分けし、各班で実験補助を行う学生を一人ずつ配置することで、児童・生徒の質の高い学びにつながると考えられます。



主な卒業論文のテーマ

- ・アワヨトウ幼虫の糞が植物の成長に及ぼす影響について
- ・アワヨトウ幼虫を用いた水中麻酔法の検討
- ・アワヨトウ幼虫の絶食と行動について
- ・アワヨトウウスマユヒメコバチの毒液や唾液がアワヨトウ幼虫の hyperspread cell に及ぼす影響について
- ・小学6年生理科における食物連鎖の観察・実験教材の授業実践について
- ・キアシヤガサムライコマユバチ *Cotesia ruficrus* をアワヨトウ幼虫に連続産卵させた際に寄主および雌蜂に与える影響
- ・アワヨトウに寄生する内部捕食寄生蜂ヨトウオオサムライコマユバチの成長・発育と生物的防除資材としての有効性について



アワヨトウ幼虫